



# 所沢市議会 議会評価報告書

平成28年6月

## 1 趣旨

所沢市議会は、平成21年3月の議会基本条例施行以後、さまざまな取り組みを実施してきた。

その中で、毎年度、市民の負託に応えられる議会の実現及び議会運営の活性化を図るとともに、説明責任を果たすため、所沢市議会が実施する事業及び議会改革について、基本条例に基づき所沢市議会議会評価を行ってきた。

平成25年4月1日からは、さらに実効性を高めるために所沢市議会議会評価の実施に関し必要な事項を定めた所沢市議会議会評価実施要綱を制定した。

本報告書は、議会運営委員長及び広聴広報委員長がそれぞれ下記の期間において所管した事業等について自己評価を行いその結果を取りまとめたもので、今後の取り組みに活かし、更なる改善を図っていくものとする。

## 2 評価対象期間

平成27年5月から平成28年5月までの期間

## 3 評価対象事業等

### (1) ◆議会運営委員会所管

「予算特別委員会における当初予算の審査」

「所沢市議会基本条例第27条に基づく見直し」

「議会ICT化の推進」

「議会改革に関する視察受け入れ」

### ◆広聴広報委員会所管

「市議会だより作成・配布」

「本会議映像のインターネット中継」

「議会ポスター作成・配付」

「所沢市議会SNSの運用」

「政策討論会の開催」

「所沢市議会広聴広報マスコットキャラクター「みみ丸」の活用」

### (2) 所沢市議会基本条例に規定する項目に対する評価（達成度及び方向性）

## 4 評価結果

別紙のとおり

## 議会事業評価表

事業名	予算特別委員会における当初予算の審査				
評価	3	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】					
<p>根拠例規：所沢市議会基本条例第2条 所沢市議会委員会条例第6条</p> <p>1 背景と経過 本市議会は当初予算の審査にあたり、審査の充実を図るため、平成26年第1回定例会において初めて予算特別委員会を設置し、分科会方式による全員参加型で審査を行った。平成27年には質疑や報告の重複を避けるため、議員定数の約半分にあたる17人の選抜委員による独立審査方式で審査を行った。平成28年は、過去2回の結果を踏まえて協議した結果、12人の選抜委員による独立審査方式で、3日間の審査日程で当初予算の審査に当たることが了承された。</p> <p>2 概要 予算特別委員会の審査の進め方については、決算特別委員会に準じ、事業会計、特別会計、一般会計の順に、会計ごとに審査し、採決を取る方法で行った。</p> <p>3 今後の方向性と評価 平成28年の予算特別委員会については、過去2回の実施を精査した後の審査となり、スムーズな運営でより充実した審査を行うことができた。 今後、より一層審査の充実を図るため、当初予算のほか補正予算における審査のあり方や、予算と決算との審査結果の継続性、予算常任委員会の設置の必要性など、課題となっている事項について検討を行う。また、毎年、第1回定例会における一般質問と質疑のあり方などに関して、協議を継続していくこととし、評価は3の改善とする。</p>					
委員長名	議会運営委員長 福原浩昭				

評価日：平成28年 6月 6日

## 議会事業評価表

事業名	所沢市議会基本条例第27条の規定に基づく見直し			
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止 4 縮小
【評価説明】				
根拠例規：所沢市議会基本条例第27条第1項、第2項				
1 背景と経過 議会基本条例制定から6年が経過していること、また、改選後速やかに検討を行う旨の規定により、議会運営委員会で協議を行った。その結果を踏まえ、時代に即した条例改定に向け、議会基本条例の改定に関する特別委員会を設置した。				
2 概要 議会基本条例改定に関する特別委員会では、11回の委員会を開催し、調査・研究を行った。専門的知見の活用、調査委託の報告会、兵庫県加西市と大阪府大阪狭山市議会への視察等を踏まえて、政策立案及び政策提言を積極的に行える仕組みや広聴機能の充実、災害時の対応などの改正案を策定した。また、意見提案手続を5月9日から20日まで実施するとともに、5月28日には改定に関する報告会を予定している。				
3 今後の方向性と評価 今回の審査結果を踏まえて条例改正案を委員会提出議案として提出する予定である。また、今後においても、時代に即した内容となるよう引き続き検討を行っていく。評価は2の継続とする。				
委員長名	議会運営委員長 福原浩昭			

評価日：平成28年 6月 6日

## 議会事業評価表

事業名	議会ICT化の推進				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】					
根拠例規：所沢市議会基本条例第3条第4号					
1 背景と経過					
<p>議員から、議場でのタブレット端末を使用したい旨の要望があがり、平成26年度に「タブレット端末導入に関する作業部会」で協議した。その結果、使用基準を作成し、議場でのタブレット端末の使用を可能とした。平成27年度は、議会ICT化に向けて、「ICT化推進計画策定に関する作業部会」を設置し、協議することとなった。</p>					
2 概要					
<p>「所沢市議会ICT化推進基本計画」の策定に向けて、議会ICT推進に先進的な取り組みを行っている滋賀県大津市議会等への視察を行ったことで、議員間での情報共有を図ることができた。その後、全議員を対象にICT関連事業者によるICTの活用に関する説明会を通してICT化推進の必要性を確認し、平成28年2月17日に「所沢市議会ICT化推進基本計画」を策定した。</p> <p>さらに計画の実効性を高めるため、平成28年第1回定例会において、議員提出議案として「市民にとってわかりやすい議会運営に資するため『所沢市議会ICT化推進基本計画』を実施する決議」を提案し、全会一致で可決した。</p>					
3 今後の方向性と評価					
<p>所沢市議会ICT化推進基本計画に基づき、継続して計画の実施に向けた調査や活動を行うこととし、平成29年度には、議会運営・議員活動のためのアプリケーションを実装したタブレット端末の配置及び通信サーバ（クラウド）の構築を行えるよう、予算確保に向けた協議を引き続き行う。評価は、2の継続とする。</p>					
委員長名	議会運営委員長 福原浩昭				

評価日：平成28年 6月 6日

## 議会事業評価表

事業名	議会改革に関する視察受け入れ				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】					
根拠例規：所沢市議会基本条例第17条					
1 背景と経過					
<p>本市議会は、平成21年3月に議会基本条例を制定し、毎年議会改革に取り組んできた。こうした本市議会における議会改革や議会運営の取り組みに対し、他市町村議会から多くの視察の申し入れがあり、本市議会としても情報共有により、より広い視点から課題を捉え直す機会と受け止め、継続的に数多くの視察の受け入れを行っている。なお、今評価期間の議会に関する視察の受け入れに当たっては、議会運営委員会の委員のほか、広聴広報委員会の委員などが対応した。</p>					
2 概要					
年度	視察自治体数	受入人数	対応議員数		
平成22年度	45自治体	485人	89人		
平成23年度	33自治体	268人	65人		
平成24年度	43自治体	446人	62人		
平成25年度	36自治体	375人	76人		
平成26年度	30自治体	323人	78人		
平成27年度	22自治体	212人	52人		
合計	209自治体	2109人	422人		
3 今後の方向性と評価					
<p>視察の受け入れでは、対応において、視察事項と関連づけて議会改革や議会運営の評価方法、政策形成サイクル、議会ICT化などについて話す機会があり、本市議会における議会改革の取り組みについて、PRする機会にもなっている。また、他市町村議会の議員との情報共有を図ることもでき、更なる議会改革の契機の1つにもなっている。今後においても、議会改革を進めるとともに、本市議会での取り組みの積極的な周知と視察受入件数の増加を目指し、評価は、2の継続とする。</p>					
委員長名	議会運営委員長 福原浩昭				

評価日：平成28年 6月 6日

## 議会事業評価表

事業名	市議会だより作成・配布				
評価	1	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第21条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>議会の活動を多くの市民に対してわかりやすくお知らせするため、各定例会後に発行する議会広報紙であり、昭和45年11月に第1号のB5判「市議会ところざわ」を発行し、その後、昭和59年5月発行の第50号からタブロイド判の「ところざわ市議会だより」となり、平成8年5月発行の第98号からA4判となり現在に至る。</p> <p>平成27年度においては各125,000部を作成し、新聞折込等で配布するとともに、市議会HPでPDF版を公開している。また、発行の際にはSNS（ツイッター、フェイスブック）にもお知らせを掲載している。</p> <p>2 概要</p> <p>平成27年度は、所管である広聴広報委員会にて、課題等抽出ワークショップ、勉強会、市民を対象としたアンケートを実施するなどの取り組みを行った。その成果として、平成28年2月発行の第177号から全面写真を用いるなど表紙のデザインを一新し、また市にゆかりのある人へのインタビューを裏表紙に掲載するなど、紙面のリニューアルに取り組んでいる。</p> <p>ところざわ市議会だよりをより多くの方に手に取っていただくために、平成28年2月から所沢駅構内にパンフレットラックを設置して配架を始めるとともに、所沢市医師会に加入している市内医療機関（約180機関）へ送付し、待合室等へ配架していただく取り組みを始めた。またこれに加え、アプリ「i 広報紙」への掲載を始めた。</p> <p>なお、市議会HP上のコンテンツ「市議会だより」アクセス件数は増加している。</p> <p>平成25年度 10,325件 平成26年度 13,063件 平成27年度 18,669件</p> <p>3 今後の方向性と評価</p> <p>今後も市民に読まれ、親しまれ、役に立つ広報紙を目指し、紙面の充実に努めていく。なおページ数の増やフルカラー化、議会報告会などで要望の出ている全戸配布などについても検討を行っていくべきであることから、評価は1の拡充とする。</p> <p>（経費）平成27年度 印刷製本費：10,584,000円、新聞折込手数料：4,498,921円 通信運搬費：18,860円、合計：15,101,781円</p>					
委員長名	広聴広報委員長 荻野 泰男				

評価日：平成28年 6月 6日

## 議会事業評価表

事業名	本会議映像のインターネット中継				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第21条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>情報技術の発達を踏まえ、多様な広報手段により議会の情報公開を進めることを目的とし、平成20年9月から本会議の映像をライブ中継と録画中継でインターネット配信している。これにより、都合により傍聴に来られない場合であっても、インターネット環境があれば家庭等で本会議の状況を知ることができる。</p> <p>2 概要</p> <p>平成27年9月にシステムの更新を行い、高画質化、テロップの表示、スマートフォン、タブレット端末からの閲覧に対応した。</p> <p>なお、平成27年4月～28年3月の平均アクセス数については以下の通り。</p> <p>ライブ 6,222件/定例会、録画 1,406件/月 (参考)平成26年4月～平成27年3月 ライブ 3,958件/定例会、録画 2,402件/月</p> <p>3 今後の方向性と評価</p> <p>情報技術の発達に適応した適切な事業であり、市民が自分の都合に合わせて、いつでも議会の内容を知ることができる、極めて有意義な事業である。</p> <p>なお平成27年度においては、音声が出送されないなどの不具合が生じたことから、今後、安定的なサービスの提供を続けていく必要があり、評価は2の継続とする。</p> <p>(経費)</p> <p>平成27年度 中継委託料：1,198,800円、機器借料：9,809円 通信料：184,000円、合計：1,392,609円</p>					
委員長名	広聴広報委員長 荻野 泰男				

評価日：平成28年 6月 6日



## 議会事業評価表

事業名	所沢市議会SNSの運用				
評価	1	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
<p>【評価説明】</p> <p>根拠例規：所沢市議会基本条例第21条</p> <p>1 背景と経過</p> <p>議会の活動を多くの市民に対して迅速にお知らせすることを目的とし、ツイッター、フェイスブック、グーグルカレンダーを活用して議会情報を発信している。</p> <p>平成25年3月に運用を開始したツイッター、平成26年1月に開始したフェイスブックでは本会議の状況、会期日程、委員会開催、ところざわ市議会だよりの発行、議会報告会等の開催、視察受け入れやその他議会に関するお知らせなどを配信している。またより多くの方に興味を持って見ていただけるよう、フェイスブックとツイッターを連動させている。</p> <p>また平成26年2月から運用を開始したグーグルカレンダーでは、会期日程や閉会中の日程を公開しており、市議会HPの「会期・日程」コンテンツにリンクを組み込む形で活用している。</p> <p>2 概要</p> <p>ツイッター：平成28年3月末のフォロワー数330 （参考）平成27年2月末のフォロワー数259</p> <p>フェイスブック：平成28年3月末の「いいね！」の数291 （参考）平成27年2月末のいいね！の数190</p> <p>なおフェイスブックにおいては、平成27年11月から、所沢市議会広聴広報マスコットキャラクターみみ丸を活用し、より親しみやすい情報発信に努めている。</p> <p>3 今後の方向性と評価</p> <p>親しみやすく、また即時性を持つ発信ツールとして活用を始めたSNSであるが、ツイッター、フェイスブック、グーグルカレンダーともに活用の幅や支持を広げている。</p> <p>運用にあたっては、適切な情報発信の内容やタイミングを見極めながら、これまで活用していなかった機能の活用や、他部署との連携を図るなど、情報公開のツールとしてより充実させていくべきであることから、評価は1の拡充とする。</p>					
委員長名	広聴広報委員長 荻野 泰男				

評価日：平成28年 6月 6日

## 議会事業評価表

事業名	政策討論会の開催				
評価	2	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止	4 縮小
【評価説明】 根拠例規：所沢市議会基本条例第13条					
1 背景と経過 市長等から提出された議案に限らず、特定のテーマについて、各議員が活発に意見等の交換を行い、共通認識を醸成するため、平成24年から毎年開催している。 平成26年に「市議会政策討論会設置要綱」の見直しが行われ、同年8月27日に「政策討論会実施要綱」が策定されたことにより、広聴広報委員会で所管することとなった。					
2 概要 平成28年2月6日に開催した政策討論会は、要綱第4条に規定される委員会における実施について、市民文教常任委員会の閉会中の特定事件「市民文化について」のうち「文化財保護のあり方と今後について」の審査の一環として開催したものであり、常任委員会として初めて開催する政策討論会となった。 第1部では埼玉県考古学会会長高橋一夫氏を講師に迎えての基調講演、第2部では、委員8人による討論を行い、64人の方々にご参加いただいた。 なおこの討論会を実施するにあたり、平成26年12月に開催した広聴広報委員会で、委員会が政策討論会を開催する場合の情報発信（広報手段等の整理）における広聴広報委員会の役割を確認した。					
3 今後の方向性と評価 常任委員会で開催したことにより、政策形成サイクルに位置付けられた政策討論会としての機能をより果たせるようになった。 今後も、政策立案や提言など、政策形成につなげていくことが求められることから、評価は2の継続とする。					
委員長名	広聴広報委員長 荻野 泰男				

評価日：平成28年 6月 6日

## 議会事業評価表

事業名	所沢市議会広聴広報マスコットキャラクター「みみ丸」の活用			
評価	1	1 拡充 5 終了	2 継続 6 休止	3 改善 7 廃止 4 縮小
【評価説明】 根拠例規：所沢市議会基本条例第21条				
1 背景と経過 議会をより身近に感じていただき、また興味を持っていただくため、所沢市議会初開催65周年を記念して所沢市議会広聴広報マスコットキャラクターを作成した。 市の鳥であるひばりをモチーフにした外見と、頭に狭山茶の葉を乗せた、市ゆかりのキャラクターであり、名前の「みみ丸」は、「33人の議員数」と、議会としての広聴広報の、「広聴」から、「全身が耳であるかのようによく聴く」ことに由来する。				
2 概要 平成27年8月発行のところざわ市議会だより第175号などで名前を公募する形で、キャラクターについて公表した。名前の決定においては、公募で集まった220点の候補を対象に、全議員で一次審査を、広聴広報委員会で二次審査を行い決定し、平成27年11月発行のところざわ市議会だより第176号などで発表した。 主にところざわ市議会だよりやSNS、議会報告会等の広報活動などに活用し、概ね好評である。				
3 今後の方向性と評価 これまで議会に興味を持っていなかった市民層に対する周知広報の手段としても期待されるが、未だ市民からの知名度は低い状況であるため、オリジナルグッズの作成、HPへの活用など、より活用の幅を広げていくべきであることから、評価は1の拡充とする。				
委員長名	広聴広報委員長 荻野 泰男			

評価日：平成28年 6月 6日

1 所沢市議会基本条例に規定する項目の評価

No.	項目	議会基本条例 該当条文	進捗状況又は実績	評価		備考
				達成度	方向性	
1	目的	第1条				
2	議会の役割	第2条				
3	議会の活動原則 (公正性・透明性・信頼性) (情報公開・説明責任)	第3条	議会事業評価の公表	○	継続	
			常任委員会会議録の公開	○	改善	
			議員の賛否を公開	○	改善	広報紙に掲載
			説明責任	○	改善	政務活動費の積極公開
			市民にとってわかりやすい 議会運営	○	継続	平成28年3月「所沢市議会ICT化推進基 本計画」を実施する決議
4	議員の活動原則	第4条				
5	会派	第5条				
6	市民参加及び市民 との連携	第6条	会議の原則公開	○	継続	非公開・秘密会なし
			公聴会	×	継続	本評価期間中対象案件なし
			参考人制度	○	継続	請願審査において(27年9月健康福 祉・建設環境常任委員会)・所管事務 調査「市民文化について」(27年1 2月市民文教常任委員会)・特定事件 「地域防災について」(28年2月総 務経済常任委員会) 参考人招致
7	議会報告会	第7条	6回開催(平成27年5月・ 11月、平成28年5月に各 2回実施)	○	改善	議会報告会実施要綱を一部改正 (平成27年6月1日)
8	意見提案手続	第8条	議会基本条例の一部改正につ いて(素案)	○	継続	平成28年5月9日～20日 意見提案3人10件
9	議員と市長等 執行機関の関係	第9条	一般質問返通告	○	改善	平成25年9月定例会から実施
10	閉会中の文書による質問	第10条	文書による質問	○	継続	所沢市の交通事故に関する質問 (平成 27年11月市民文教常任委員会)
11	議会審議における論点情報の形成	第11条	予算・決算資料の改善	○	改善	
12	議員間の自由討議	第12条	委員会審査	○	継続	平成27年9月(建設環境常任委員会)
13	政策討論会	第13条	テーマ「文化財保護なぜ必 要? 伝えていくもの、失わ れゆくもの」	○	継続	平成28年2月6日実施(市民文教 常任委員会) 参加者64名
14	委員会の運営	第14条	正副委員長連絡協議会	○	継続	各定例会で合計8回実施
15	議会運営委員会	第15条	予算委員会に係る協議	○	改善	平成28年3月定例会は12名の委 員により実施
16	政務活動費	第16条	ホームページ上の公開	○	継続	平成26年5月から公開
17	議員研修の充実強化	第17条	議員研修の実施	○	継続	「マイナンバー制度の概要とその安 全管理措置について」(総務経済・市 民文教常任委員会)、 「空き家に係る法と政策について」 ほか、
18	議会事務局の充実	第18条	13人(平成28年4月1日)	×	拡充	所沢市職員定数条例の定めによる事 務局職員定数 14人
19	予算の確保	第19条		○	拡充	
20	議会図書室	第20条	図書の充実	○	拡充	広聴広報委員会所管
21	議会広報の充実	第21条	広報紙・HP等による公表の充実	○	拡充	
22	専門的識見の活用	第22条	専門的識見の活用	○	継続	議会基本条例に係る調査委託(議会 基本条例改定に関する特別委員会)
23	附属機関の設置	第23条	附属機関の設置	○	継続	「所沢市議会政策研究審議会条例」 の制定
24	議員の政治倫理	第24条	政治倫理条例等の遵守	○	継続	
25	議員定数	第25条	平成27年4月の一般選挙 における定数は33人	○	継続	
26	議員報酬	第26条				
27	見直し手続	第27条		○	継続	今期(第18期)平成27年8月18日実施 「議会基本条例改定に関する特別委 員会」の設置(平成27年7月7日)

## 2 議会改革の取組状況

開催議会	進捗状況及び実施事業	項目	該当条文
平成27年5月臨時会			
閉会中	議会報告会開催(5/27、30)	議会報告会	第7条
平成27年6月定例会	予算特別委員会に係る協議開始	議会運営委員会	第15条
	タブレット端末の活用に関する協議開始	見直し手続	第27条
閉会中	議会基本条例改定に関する特別委員会の設置(7/7)		
	ICT化推進事業の取組について神奈川県寒川町議会へ視察(7/23)	議会運営委員会	第15条
平成27年9月定例会	ICT化推進基本計画策定に関する作業除を設置(8/25)		
	健康部常任委員会、建設部常任委員会の請願審査における参考人招致	市民参加及び市民との連携	第6条
閉会中	議会基本条例の改定に係る調査の実施(9/25)	専門的知見の活用	第22条
	ICT導入の取組について、神奈川県女子市議会(10/26)、三重県志摩市議会(10/27)、千葉県市議会(11/9)、滋賀県大津市議会(11/10)へ視察	議会運営委員会	第15条
	タブレット端末の操作に関する議員研修会を実施(10/28)	委員会の運営	第14条
	議員研修「マイナンバー制度の概要とその安全管理措置について」開催(10/28)	議会報告会	第7条
平成27年12月定例会	議会報告会開催(11/13、21)	議会報告会	第7条
	議会基本条例の改定に係る調査の報告(11/26)	専門的知見の活用	第22条
平成27年12月定例会	議場コンサートの実施(12/1開会前)	議会広報の充実	第21条
	市民文教常任委員会所管事務調査における参考人招致(12/16)	市民参加及び市民との連携	第6条
閉会中	ICT化推進基本計画に関する議員研修会を実施(1/25)	議会運営委員会	第15条
	総務経済常任委員会特定事件における参考人招致(2/3)	市民参加及び市民との連携	第6条
	市民文教常任委員会による政策討論会開催(2/7)	政策討論会	第13条
平成28年3月定例会	議会報告会開催(5/14、20)	議会報告会	第7条
	予算特別委員会を設置(新年度予算案件10件を審査)	委員会の運営	第14条
	「所沢市議会ICT化推進基本計画」策定及び決議の可決(3/29)	市民にとってわかりやすい議会運営	第3条
閉会中	所沢市議会政策研究審議会条例の制定(3/29)	附属機関の設置	第23条
	議会報告会開催(5/14、20)	議会報告会	第7条
閉会中	議会基本条例改定における意見提案手続(5/9~20)及び報告会の開催(5/28)	意見提案手続	第8条

## 3 議会の活動状況

項目		27年度		26年度		比較
議員提出議案		14	件	12	件	2
付帯決議		1	件	0	件	1
修正可決		0	件	1	件	▲1
委員会提出議案		0	件	0	件	0
委員会提言		0	件	0	件	0
5月臨時会	傍聴者数	本会議	11人		件	
		委員会	4人		件	
6月議会	傍聴者数	本会議	167人	201人		▲34
		委員会	8人	7人		1
9月議会	傍聴者数	本会議	105人	215人		▲110
		委員会	28人	22人		6
12月議会	傍聴者数	本会議	208人	170人		38
		委員会	3人	22人		▲19
3月議会	傍聴者数	本会議	168人	318人		▲150
		委員会	28人	48人		▲20